

**令和元年度
第1回 介護ロボットメーカー連絡会議の開催について**

1. 趣旨

少子高齢化が進展する我が国において、介護ロボットの開発・普及は喫緊の課題となっている。こうした中、厚生労働省では「介護ロボット開発等加速化事業」を創設し、介護現場のニーズを反映した開発の提案内容を取りまとめるニーズ・シーズ連携協調協議会の設置をするとともに、開発中の試作機器等について介護現場での実証等を行い、介護ロボットの实用化を促す環境を整備している。さらに实用化した介護ロボットの利活用を促進する介護技術開発支援モデル事業も着手している。

また、今年度より、介護ロボットの体験展示や研修会の開催、試用貸出等の取組を全国規模（47都道府県）で実施する「介護ロボット普及拠点事業」が新たに設けられ、介護ロボットの普及を加速化させる取り組みに着手したところである。

こうした背景のもと、関係企業に対して行政の動向及び介護現場や介護施設の状況や取り組みについて周知するとともに、企業間等の情報共有や技術連携を通じて、介護ロボット開発のための新たなイノベーションの創出につなげることを目的として「介護ロボットメーカー連絡会議（以下「本会議」）」を開催することとする。

2. 事務局

本会議は、福祉用具・介護ロボット実用化支援事業における介護ロボット等の普及・啓発事業の一環として位置付け、当協会が行うこととする。

〔 公益財団法人テクノエイド協会 担当：谷田、蒲生、形山、五島
〒162-0823 東京都新宿区神楽河岸1番1号 セントラルプラザ4階
電話 03-3266-6883 FAX 03-3266-6885
E-mail robocare@techno-aids.or.jp 〕

3. 参加、呼びかけ等

- 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業において、モニター調査やアドバイス支援事業を行い、既に商品化した介護ロボット等のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含む。）
- ロボット介護機器開発・標準化事業（以前の「ロボット介護機器開発・導入促進事業」を含む。）において採択され、既に商品化したロボット介護機器のメーカー（商品化に向けて開発を継続しているメーカーを含む。）
- 介護ロボット導入支援事業等において、採用された実績のある介護ロボットメーカー
- 次世代の福祉用具・介護ロボットの開発研究を行う者及び、この分野への新規参入や技術応用を希望しており、技術シーズを有している企業や団体、研究機関等（ハイテクとローテクは問わないこととする。）

※ 参加呼びかけにあたっては、これまでの参加名簿に基づくテクノエイド協会からの周知に合わせ、経済産業省及び産業技術総合研究所、日本医療研究開発機構、日本ロボット工業会、ロボット革命イニシアティブ協議会、日刊工業新聞等にも周知をお願いする。

4. 参加申し込み

(参加申込み)

参加を希望するメーカー及び関係機関等については、別添「参加申込書」に所定の事項を記載し、令和元年7月5日(金)までに、当協会あて電子メール又はファクシミリにて提出すること。但し、参加者多数の場合には、会場等の都合により、参加をお断りする場合がありますことをご容赦ください。

(参加費)

無料（但し、旅費は参加者負担）

5. 介護ロボットメーカー連絡会議の開催計画(案)

(1) 日時：令和元年7月9日（火）11時00分～15時40分

(2) 場所：四ツ谷 主婦会館プラザエフ 7階 カトレア

(3) 内容：

【第1部】

(行政報告)

○ロボットに係る施策の動向 <40分>

- ・厚生労働省老健局 高齢者支援課 加藤 晴喜 課長補佐
- ・経済産業省（予定）

(情報提供)

○介護ロボットの開発・普及に関する取り組み <30分>

- ・専門職によるアドバイス支援事業及び介護ロボットモニター調査事業の実施
- ・介護ロボット活用事例集の作成
- ・実態調査の結果概要
- ・介護ロボット全国フォーラムの開催予定

テクノエイド協会 企画部

○介護ロボット普及拠点事業の実施計画について <20分>

- ・介護ロボット地域フォーラムの開催及び、試用貸出事業について

日刊工業新聞 総合事業局 業務推進部

【第2部】

(基調報告)

※敬称略

○介護ロボットの開発・利用に関わる取り組み <120分>

- ・医療法人和同会 広島パークヒル病院 リハビリテーションセンター
山口 雅子 氏
- ・パラマウントベッド株式会社 技術開発本部技術戦略室 山口 悟史 氏
- ・アスラテック株式会社 事業開発部 水口キリコ 氏
- ・リンカーズ株式会社 取締役 加福 秀互 氏